

発表プログラム Program

口頭発表プログラム Oral presentations

A 会場:D20 号室、B 会場:D30 号室

A 会場 9 月 13 日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	A1	インドネシアの越冬地におけるハチクマの環境選択と気候変動の影響	Syartinilia Wijaya・Aryo Adhi Condro (ボゴール農科大)、○樋口広芳 (慶應大)
9:15	A2	サシバは同じ繁殖地と越冬地を利用するのか?	○鳥飼久裕 (奄美野鳥の会)・東淳樹 (岩手大)・井上剛彦 (ARRCN)・遠藤孝一 (WBSJ)・出島誠一 (NACS-J)・内藤アンネグレート素 (ARRCN)・葉山政治 (WBSJ)・藤井幹 (WSPB)・松永聡美 (WSPB)・山崎敦子 (ARRCN)・山崎匠 (ARRCN)・与名正三 (奄美の自然を考える会)・和田のどか (ARRCN)・山崎亨 (ARRCN)
9:30	A3	北海道で繁殖するヨタカの渡りルート	○山浦悠一 (森林総研)・雲野明 (道総研林試)・河村和洋 (森林総研)・先崎理之 (北大)・佐藤重穂 (森林総研)・大谷達也 (森林総研)・Greg Conway (BTO)
9:45	A4	ケリの親子・兄弟、およびペアの GPS 追跡から見えてきたこと	○脇坂英弥 (関西ケリ研究会)・脇坂啓子 (関西ケリ研究会)
10:00	A5	続・「2 羽どまり」の謎:九州で越冬なわばりを共有するノスリ複数組の遠隔追跡	○中原亨 (北九博)・伊関文隆 (希少生物研)・吉岡俊朗 (おおせっからんど)・長井和哉 (岩手大)・雀ヶ野孝 (長崎大)・大槻恒介 (長崎大)・中山文仁 (自然研)・山口典之 (長崎大)
10:15	A6	GPS 発信機によるイヌワシの追跡結果	○中島拓也 (ラプタージャパン) 阿部學 (ラプタージャパン) 橋本哉子 (ラプタージャパン)
休憩			
10:35	A7	スワンププロジェクトー鳥類の渡り追跡公開と市民科学	○嶋田哲郎 (伊豆沼財団)・小西敢 (クツチャロ湖水鳥観察館)・李国政・史国? (ドルイドテクノロジー)・樋口広芳 (慶應大)
10:50	A8	クロツラヘラサギの行動調査で見た小型ドローンの有効性と注意点	小久保守晃 (葛西のクロツラ)、北村亘 (葛西のクロツラ、東京都市大)、○木村成美 (NPO birth)、上原文弥 (葛西のクロツラ)
11:05	A9	Ubilink Satellite System for Biotracking	LI GUOZHENG (Druid Technology Co., Ltd.)

11:20	A10	気候条件の異なる移住先におけるメジロの繁殖生理学的応答	○堀江明香(大阪自然史博)・平井仁智(岡山理大・理)・山内悦子(沖縄こどもの国)・金城輝雄(沖縄こどもの国、現:RWRCC)・吉見裕子(沖縄こどもの国)・築場未来(沖縄こどもの国)・中村智映(沖縄こどもの国)・金尾由恵(沖縄こどもの国)・林花奈子(池田動物園)・花島里奈(池田動物園)・西村慶太(天王寺動物園)・尾曾芳之(天王寺動物園)・小川由華(天王寺動物園)・高見一利(天王寺動物園、現:豊橋総合動植物公園)・武山智博(岡山理大・生物地球)・清水慶子(岡山理大・理)
11:35	A11	換羽、生活史、生態、発色メカニズムから、ルリビタキの発色を考える	○森本元(山階鳥研)
11:50	A12	トカラ列島における鳥類群集構造	安藤温子(国環研)、飯島大智(筑波大)、井上遠(IBRG)、佐藤望(IBRG)

A会場 9月13日 PM

開始	番号	演題	発表者
13:05	A13	アカモズ人工育雛における日齢別栄養要求の推定と給餌プロトコルの検討	○行本帆花 ¹ ・間宮ふうか ¹ ・林康太郎 ¹ ・長崎汐音 ¹ ・東山咲季 ¹ ・青木楓太 ¹ ・山口達大 ¹ ・石尾雪乃 ² ・井上康子 ² ・瀧本嵐丸 ² ・八代梓 ² ・高御堂裕紀 ² ・木谷良平 ² ・高見一利 ² ・岡久雄二 ¹ (¹ 人間環境大、 ² 豊橋総合動植物公園)
13:20	A14	アカモズの放棄卵の救助と人工孵卵技術の確立に向けた試み	行本帆花(人環大)・○神谷頼杜(人環大)・間宮ふうか(人環大)・赤松あかり(長野アカモズ保全研)・原星一(長野アカモズ保全研)・藤田知弥(信大)・松山陽子(長野アカモズ保全研)・米山富和(長野アカモズ保全研)・松宮裕秋(長野アカモズ保全研)・高御堂裕紀(豊橋総合動植物公園)・八代梓(豊橋総合動植物公園)・瀧本嵐丸(豊橋総合動植物公園)・木谷良平(豊橋総合動植物公園)・高見一利(豊橋総合動植物公園)・岡久雄二(人環大)
13:35	A15	アカモズ野生個体群の補強に向けた生餌給餌訓練:採餌能力向上の試み	○間宮ふうか ¹ ・小野優苗 ¹ ・木谷良平 ² ・高御堂裕紀 ² ・八代梓 ² ・中島克之 ² ・石尾雪乃 ² ・井上康子 ² ・瀧本嵐丸 ² ・後藤巧真 ² ・高見一利 ² ・岡久雄二 ¹ (¹ 人間環境大学、 ² 豊橋総合動植物公園)

開始	番号	演題	発表者
13:50	A16	再導入コウノトリのなわばり防衛行動の性差	○白井あやか(兵庫県大)・出口智広(兵庫県大・コウノトリ郷公園)
14:05	A17	再導入コウノトリ、配偶相手の決め手は何？	○出口智広(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)・内藤和明(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)・大迫義人(兵庫県大・兵庫県立コウノトリの郷公園)
14:20	A18	再導入トキのコロニー崩壊のメカニズムについて	永田尚志(新潟大)
14:35	A19	トキ飼育下個体群の遺伝的多様性の近年における推移の評価	○角野歩夏 ¹ ・南澤夏奈香 ² ・石井森昭 ¹ ・山田宜永 ¹ ・杉山稔恵 ¹ ・谷口幸雄 ³ ・金子良則 ⁴ ・祝前博明 ⁵ (¹ 新潟大院自然科学, ² 新潟大農, ³ 京大院農, ⁴ 佐渡トキプラザ, ⁵ 新潟大佐渡自然セ)
休憩			
14:55	A20	サンジャクの捕獲事例と外来種管理	○天野一葉(琵琶博)
15:10	A21	福井県におけるソウシチョウの侵入・定着プロセス	○出口翔大(福井市自然史博)、三原学(鳥類標識協会)、吉田一郎(鳥類標識協会)、佐藤文男(山階鳥研)、澤祐介(山階鳥研)
15:25	A22	東アジアに再導入されたシジュウカラガンの千島列島における繁殖確認と夏季の行動圏	○澤祐介(山階)・池内俊雄(雁里親の会)・田村智恵子(雁里親の会)・仲村昇(山階)・Hansoo Lee(KoEco)・近藤正(秋田県大)・佐場野裕(雁保護する会)・呉地正行(雁保護する会)
15:40	A23	ヤンバルクイナの野生復帰試験の評価	○尾崎清明・森本元(山階鳥研)、渡久地豊(工房リュウキュウロビン)、中谷裕美子・玉那覇彰子・向真一郎・金城道男・長嶺隆(どうぶつたちの病院沖縄)
15:55	A24	沖縄県北部におけるヤンバルクイナの分布規定要因の特定	○原英里子(帯広畜産大)・赤坂卓美(帯広畜産大)
16:10	A25	ヤンバルクイナの交通事故要因分析とロードキルリスクマップの作成	○杉本嵩臣(いであ(株))・佐藤泰夫(いであ(株))
16:25	A26	沖縄島固有種ノグチゲラ個体群の現状と保全の展望:マンガース対策の重要性について	○小高信彦(森林総研)・渡久地豊(工房リュウキュウロビン)・長井隆(沖縄環境科学セ)、中田勝士(南西環境研)・新里和野(島嶼生物研)・宮平良成・伊藤麻衣(沖縄県)・有働竜也・庄嶋菜月(環境省)

A会場 9月14日 AM

開始	番号	演題	発表者
----	----	----	-----

9:00	A27	24/25 年シーズンの出水平野における高病原性鳥インフルエンザウイルス流行状況の解明	○江寄真南(鹿大)・奥谷公亮(鹿大)・所崎香織(鹿児島県ツル保護会)・原口優子(鹿児島県ツル保護会)・堀昌伸(鹿児島県ツル保護会)・小澤真(鹿大)
9:15	A28	卵黄中抗体を用いた非侵襲的な鶏伝染性気管支炎ウイルス抗体モニタリング	○土井貴文(PPQC,大阪公大)・加藤宏光(PPQC,Triace,大阪公大、フィリピン大)・真瀬昌司(動衛研、大阪公大)・松林誠(大阪公大)
9:30	A29	北海道西部における森林棲鳥類の住血原虫感染状況の解明	○原山法大・松井晋(東海大・院・生物)・佐藤雪太(岩手大)
9:45	A30	国内の鳥類寄生性シラミバエにおける季節消長、吸血生態および原虫保有状況	○菅澤颯人(岩大、千葉中央博市民研究員)・尾崎煙雄(千葉中央博)・木村悟朗(イカリ消毒(株)、千葉中央博市民研究員)・関まどか(岩大)・佐藤雪太(岩大)

A会場 9月14日 PM

開始	番号	演題	発表者
12:45	A31	逃避行動の進化的トラップ:なぜ鳥は接近する車の前へ飛び出すのか?	○佐藤裕太(長大)・Takao Sasaki(Univ. of Rochester)・Travis L. DeVault(Univ. of Georgia)・河端雄毅(長大)
13:00	A32	鳥類の河川橋梁の利用状況の把握に向けた現地調査	佐藤靖彦(早大)・○金森泰都(早大)
13:15	A33	大阪湾・阪南 2 区人工干潟で確認された鳥類・21 年の変遷	○風間美穂(さしわだ自然資料館)・中村進(さしわだ自然資料館)
13:30	A34	鳴き声のプレイバックによるカラスの集団のねぐら入り時の行動変化の誘発の試み	○安藤隆寛(中部電力)、北村喜文(東北大)、塚原直樹(宇大)、青山真人(宇大)
13:45	A35	札幌圏の 20 年間に及ぶカラス類のねぐら状況と人との関わりについて	○中村眞樹子・竹中万紀子(NPO 法人札幌カラス研究会)・坂元直人・渋谷裕和・滝沢太浩・笹森健太(株式会社エコテック)
14:00	A36	海鳥によるマダニおよびボレリア菌の広域拡散	石田千穂(山大)、○高野愛(山大)、水谷晃(Island Ecosystem Research)、川上和人(森林総研)、森英章(自然環境研究センター)、川端寛樹(感染研)

B会場 9月13日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	B1	高時間分解能行動記録計を用いた海鳥の羽ばたきの種間比較	○原田和輝(東大)・上坂怜生(東大)・後藤佑介(名大)・成岡優(JAXA)・依田憲(名大)・綿貫豊(北大)・Francis Daunt(UKCEH)・Henri Weimerskirch(CNRS)・佐藤克文(東大)・坂本健太郎(東大)
9:15	B2	母島・海鳥・洞窟探検、科博で化石を再発見	○川上和人(森林総研)・石川弘樹(飴ミュージアム)・青塚圭一(東大総合博)
9:30	B3	知床半島における海鳥の繁殖期の生息状況(1997年から2025年)	○福田佳弘(知床海鳥研究会・バードリサーチ)
9:45	B4	北海道北部におけるウミネコの度重なる繁殖崩壊	○風間健太郎(早大)・小高歩(早大)・杉浦恭子(早大)・大槻正遼(早大)・稲本俊太(早大)・中込大河(日本気象協会、早大)・風間麻未(利尻自然史研)
10:00	B5	青森県蕪島におけるウミネコのプラスチック摂取	○新妻靖章, 芝佑果, 林千尋(名城大農環境動物)
10:15	B6	営巣位置がウミネコの採餌行動と生理応答に与える影響	○水谷友一(同志社)・後藤佑介(名古屋)・庄子晶子(名古屋)・依田憲(名古屋)
休憩			
10:35	B7	オーストンウミツバメの繁殖期前後における尾腺分泌物のメタボローム変化	○寺嶋太輝(東京農工大)・山本裕(日本野鳥の会)・永岡謙太郎(東京農工大)
10:50	B8	天売島におけるウミガラス保護の現状および繁殖失敗要因	○岩原真利・市川惇史(北海道地方環境事務所)・佐藤信彦(水産研究教育機構)
11:05	B9	オオミズナギドリ瀬戸内海繁殖集団の採餌海域および繁殖率の比較	渡辺伸一(希少鳥類研究所／麻布大)
11:20	B10	日本周辺海域を利用するセンカクアホウドリ	○富田直樹(山階鳥研)・細谷淳(鳥類標識協会)・江田真毅(北大)・泉洋江(北大)・佐藤文男(山階鳥研)
11:35	B11	アデリーペンギン幼鳥の巣立ち後の移動経路と海洋環境との関係	○北川達朗(総研大)・國分互彦(極地研)・今木俊貴(総研大)・高橋晃周(極地研)
11:50	B12	飼育下ペンギン類における同性ペアについて：つがいの意味を考える	酒井嘉子(立教大)・○上田恵介(立教大)

B会場 9月13日 PM

開始	番号	演題	発表者
13:05	B13	羽の安定同位体分析による同一地域における 60 年前と現在のスズメの食性比較	○岩見恭子(山階鳥研)・富田直樹(山階鳥研)・兵藤不二夫(岡大)・武山智博(岡山理科大)
13:20	B14	羽標本の安定同位体分析から探る沖縄島の鳥類の食性	○武山智博(岡山理大)・岩見恭子・富田直樹(山階鳥研)・兵藤不二夫(岡山大院)・水田拓(山階鳥研)・関伸一(森林総研・関西)・小高信彦(森林総研・九州)
13:35	B15	明治・大正期に東京麹町の山階宮邸で採集された鳥類標本の情報復元	小林さやか(山階鳥研)
13:50	B16	骨の計測値による日本産ウ科 4 種の同定の試み : 入江貝塚出土資料を対象とした事例研究	○江田真毅(北大)
14:05	B17	日本で繁殖するシロチドリの遺伝的多様性・遺伝的構造の把握	○末石萌乃(信州大院・総合理工学)・峯光一(徳島県庁)・澤祐介(山階鳥研)・守屋年史(バードリサーチ)・佐藤達夫(行徳自然ほごくらぶ)・北村亘(東京都市大)・山下洋平(葛西海浜公園パートナーズ)・吉田祐一(生態教育センター)・西海功(科博)・笠原里恵(信州大)
14:20	B18	2010 年代に都心緑地で繁殖を始めた小鳥類2種の遺伝的特徴	○西海 功(国立科博)・黒田清子(山階鳥研)・樋口亜紀(国立科博)・望月みずき(我孫子市鳥博)・小林さやか(山階鳥研)・齋藤武馬(山階鳥研)
14:35	B19	オオソリハシギの亜種の渡来状況把握のための予備的検討	○平岡考(山階鳥研)
休憩			
14:55	B20	北海道のノビタキは本州を通過する	○今西貞夫・田中正彦(北海道バンダー連絡会、日本野鳥の会道南松山)・安西英明(日本野鳥の会)・久下直哉(日本鳥類標識協会)・森 茂晃(ホシザキ野生生物研究所)・高橋雅雄(岩手県立博物館)・松村万知子(交野野鳥の会)
15:10	B21	長野県諏訪湖の小面積ヨシ群落におけるオオヨシキリの繁殖成績	○笠原里恵(信大)・藤原彩夏(WDB エウレカ社)
15:25	B22	ニューナイスズメの繁殖生態: 一巢の価値に着目して	○佐々木 未悠(総研大)・高橋 雅雄(岩手県博)・蛭名 純一(おおせっか)・東 信行(弘大)・沓掛展之(総研大)

15:40	B23	岩手県南部におけるクマゲラ繁殖の可能性について	藤井忠志・○籠島恵介・阿部恵彦・金沢聡・佐藤和義・原勝雄・原由美(本州産クマゲラ研究会)
15:55	B24	鳥は種子を何個ずつばら撒く?—鳥散布における種子配置パターン—	○大河原恭祐(金沢大)・木村一也(石川県森林組合)・佐藤文男(山階鳥研)
16:10	B25	富士山の火山荒原におけるヨタカの分布に関する環境要因	○水村春香(富士山研)・上田恵介(立教大)・安田泰輔(富士山研)
16:25	B26	登山者向けアプリを利用した広域的なライチョウの目撃情報収集	小林篤(環境研)・松本 英高(株ヤマッブ)・福田真(環境省)

B会場 9月14日 AM

開始	番号	演題	発表者
9:00	B27	文化は異所的種分化を加速する	○山崎剛史(山階鳥研・高知工科大)・小林豊(高知工科大)・荻原直道(東大)
9:15	B28	伊豆諸島のカラ類2種の分布は島の大きさで説明できる	○藤田薫(東邦大, バードリサーチ)・藤田剛(東大)
9:30	B29	離島に生息するウチャマセンニューなどの生息条件について	○武田恵世(日本野鳥の会三重)
9:45	B30	大都市東京のオオタカ幼鳥の分散	○阿部 學(ラプタージャパン), 樋口亜紀(科博), 中島拓也(ラプタージャパン), 橋本哉子(ラプタージャパン)

B会場 9月14日 PM

開始	番号	演題	発表者
12:45	B31	タンチョウの Reverse mounting (逆マウント)について	正富宏之(タンチョウ研究所)
13:00	B32	侵略的外来種ウシガエルのない水田景観でのため池と陸棲鳥類の関係を調べる	藤田剛(東大)
13:15	B33	近畿地方中部における土地利用形態と猛禽類の関係	○中津弘(温帯文化景観調査研究所)
13:30	B34	個体識別により判明したクマタカの換羽情報	○一瀬弘道 ^{1,2} ・山崎亨 ¹ (¹ クマタカ生態研究グループ、 ² いであ株式会社)
13:45	B35	渡り鳥調査におけるサーマルスコープの有効性について	○紀國聡(建設技術研究所)・岸野聡(建設技術研究所)・先崎啓究(道央鳥類調査グループ)ほか

14:00	B36	ガンカモ一斉調査を活用した水上太陽電池発電所設置によるカモ類渡来羽数変化の検討4	○尾原正敬(千代田 C)
-------	-----	--	--------------

ポスター発表プログラム Poster presentations

コアタイム

【※欄に*あり】13日(土)16:40~18:40

【※欄が無印】14日(日)10:00~12:00

*ありは ポスター賞応募の発表

第1会場(2号館 1F 15号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P001	*	形態観察と糞中 DNA から明らかになったオバシギとコオバシギの交雑事例	○田谷昌仁 1・黒田理生・安部琴音・新條正志 2・小田谷嘉弥 3・細谷 淳 4・石井康人 1・千葉 聡 1 (1 東北大; 2 都立江北高校; 3 千葉中央博; 4 鳥類標識協会)
P002		トキ飼育下個体群における孵化時および1歳時の生存性間の関連性の推定	小野寺尚美 ¹ ・石井森昭 ¹ ・山田宜永 ¹ ・杉山稔恵 ¹ ・谷口幸雄 ² ・金子良則 ³ ・○祝前博明 ⁴ (1新潟大院自然科学, ² 京大院農, ³ 佐渡トキプラザ, ⁴ 新潟大佐渡自然セ)
P003	*	天は二物を与えるか?—ホオジロの番い形成成功に与える要因—	○松浦志穂(金沢大)・大河原恭祐(金沢大)
P004	*	沖縄島のリュウキュウコノハズク個体群の羽色・模様に影響を与える要因について	○榛沢日菜子(北大・院理)・武居風香(北大・院理)・池上隆之(北大・院理)・細江隼平(北大・農学院)・江指万里(北大・院理)・高木昌興(北大・院理)
P005		カワラヒワが持つ腸内細菌叢の殺鼠剤に対する反応	○小笠原浩平(北大)・小出将士(北大)・中尾亮(北大)・池中良徳(北大)・中山翔太(北大)・石塚真由美(北大)
P006		釧路湿原に生息するシマクイナから得られた寄生虫と胃内容物について	○吉野智生(釧路市動物園)・貞国利夫(釧路市立博物館)・本藤泰明(温根内ビジターセンター)・藤原伸也(温根内ビジターセンター)
P007	*	ミャンマーの複雑な地理・環境がもたらすヒヨドリ科鳥類の種分化	○檜橋真理環(九大)・吉川夏彦(国立科博)・長太伸章(国立科博)・蛭田眞平(昭和医大)・Win Win Nwe(FRI, Myanmar)・Salai Myo Myint Oo(FRI, Myanmar)・Mu Mu Aung(FRI, Myanmar)・西海功(国立科博)
P008		ヒヨドリの上腕骨・大腿骨に観察された特徴的な形質	○清水伸彦・姉崎智子(群馬自然史博)
P009	*	オオコノハズクの分子系統および集団遺伝解析と形態的多様性	○江指万里(北大)・外山雅大(根室市歴史と自然の資料館)・宮城国太郎(沖縄野鳥の会)・周戸大季(琉大)・富沢直浩(石川県)・Jasmine Elizabeth Black(新大)・高木昌興(北大)
P010	*	ウトウ雛の鳴音モニタリング	小笹瑛一朗(京大)・○川森日向(北大)・Jean Baptiste Thiebot(北大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P011		フクロウ雄成長の繁殖期における鳴き声の継続調査結果	○北尾祐介(Albireo,生態計画研究所)・鹿島彩花(Albireo)
P012	*	Text-to-Audio AI を用いて生成する鳥類音声に基づく性選択モデル	○鈴木麗璽(名大)・Hao Zhao(名大)・有田隆也(名大)
P013	*	川崎市周辺におけるガビチョウのさえずりの多様性	○長谷川れい・北村亘(東京都市大)
P014		擬声語付き鳥鳴音声データセットの試作と RAG による検索精度検証	浅野 由衣(Swallow)、寺本 優香(同志社)
P015	*	3音響管モデルに基づくハシブトガラスの声道模型の検討	○木原優太(工学院大)、高橋義典(工学院大)
P016		翼は砂浴び(dust toss)の道具になりうるのか?～粉体物理から見る羽毛の効果～	○越智友都(阪大)・明田卓巳(名大)・藤原慎一(名大博物館)・桂木洋光(阪大)
P017		モズが尾を回転させるのはいつ?	安田耕治(テクノ中部)
P018	*	沖縄島に生息するリュウキュウコノハズクにおける広告声となわばり防衛の関係	○武居風香(北大)、榛沢日菜子(北大)、池上隆之(北大)、高木昌興(北大)
P019	*	速く鳴く個体ほど適応的か?～鳴き声の速さが表す情報の検討～	○堀内晴 1・澤田明 2・金杉尚紀 1・中村晴歌 3・坂井充 1・中田知伸 1・池上隆之 1・高木昌興 1 1 北大・2 早大・3 いであ(株)
P020		巣箱で営巣したフクロウの餌内容について	松永聡美(日本鳥類保護連盟)○・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・秋山幸也(相模原市立博物館)
P021		環境調査におけるシマフクロウ録音調査法の適用について	竹中健(シマフクロウ環境研)
P022	*	カラス口腔内における味を感知する構造の解析	○高橋このか(宇都宮大院・地域創成)・青山真人(宇都宮大・農)
P023		鳥類の飛翔にかかわる筋肉と飛翔速度の関係の解明	栗原望(宇都宮大学)・○小田中楽斗(宇都宮大学)
P024	*	鳥類における尾端骨形態の多様性に関する予備報告	○佐藤初海(東洋大院・生命)・郡司芽久(東洋大・生命)
P025	*	ウトウにおける飛行と遊泳の旋回姿勢は上下反転するか?	○関日向(東京農大院)・菊地デイル万次郎(東京農大)
P026		ヒバリのディスプレイ飛翔高度ーある1個体とその周辺個体の高度の季節変化	○三上かつら(バードリサーチ)・三上修(北教大)
P027	*	ダイトウコノハズクだって風に乗るのか?～気象条件と移動距離、利用植生の関係～	○金杉尚紀(北大・院理)、江指万里(北大・院理)、熊谷隼(北大・院理)、澤田明(早大・人科)、高木昌興(北大・院理)

番号	※	演題	発表者(所属)
P028	*	レーザー測距計 VECTOR を用いた鳥類飛翔軌跡の形状による分類の試み	○中込大河(日本気象協会)・島田泰夫(日本気象協会)・藤井直紀(日本気象協会)・板谷浩男(日本気象協会)・工藤嘉晃(日本気象協会)・鎌田和歌(日本気象協会)・桃谷辰也(日本気象協会)
P029		カラスの生活のありさま～愛知県農業総合試験場のカラスの生態～	○西村光由(愛知農総試)・伊藤真(愛知農総試)・林高弘(愛知農総試)
P030	*	ハシブトガラスとハシボソガラスにおける歩容の比較	○岡村早紀(宇都宮大院・地域創生)・菊地デイル万次郎(東農大・農)・青山真人(宇都宮大・農)
P031		ホンセイインコの住居事情	○阿部仁美(千葉科学大)
P032	*	ハシブトガラス剥製ロボットに対するハシブトガラスの反応	○相野谷叶乃(宇都宮大・院・地域創生)・青山真人(宇都宮大・農)・塚原直樹(株式会社CrowLab)・安藤隆寛(中部電力株式会社)

第2会場(2号館 1F 16号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P033	*	谷津干潟でみられるハシボソガラスによる貝落とし行動の季節性と個体差	○中辻百合子(東邦大)・秦陸歩・井上英治(東邦大)
P034		太陽光発電所におけるタカによるカラス追払いの効果検証	○小原愛美(株オオヨドコーポレーション)
P035	*	動物園におけるハシブトガラスとハシボソガラスの採食行動の種間差	○窪田智文(東邦大)・水田拓(山階鳥研)
P036	*	クロツラヘラサギ(<i>Platalea minor</i>)の排泄行動の解明	○長田昇磨(都市大)
P037		餌量の季節変化と農法がアカモズの繁殖成功に与える影響	○寺田透真(人環大)・岡久雄二(人環大)・神谷頼杜(人環大)・近藤七海(人環大)・三宅悠太(人環大)・原星一(アカモズ保全 WG)・藤田知弥(信大)・赤松あかり(アカモズ保全 WG)・米山富和(アカモズ保全 WG)・松宮裕秋(アカモズ保全 WG)
P038	*	クマタカの満1歳および満2歳における換羽の地域差異	○猪狩敦史(クマ観)・伊関文隆(希少研)・先崎愛子(クマ観)・先崎啓究(クマ観)
P039	*	スズメ目鳥類における渡りの日周期性:その進化的起源と夜間への移行	○田中涼太郎(弘前大学)・原星一(日本渡り鳥保全・研究グループ)・曾我部篤(弘大)・ムラノ千恵(弘大)・東信行(弘大)
P040		葛西のクロツラヘラサギの休息行動のサンプリング分析	○濱川歩(葛西のクロツラ、都立大)・小久保守晃(葛西のクロツラ)・上原文弥(葛西のクロツラ)・北村亘(葛西のクロツラ、東京都市大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P041	*	鳥類が主食になったハヤブサが都市適応をする？	○井上茉優(海城中高,日本野鳥の会東京)、北村亘(東京都市大学)
P042	*	ウミネコが選好する水田環境の特性とその利用パターン	○清稜太(新大院)・永田尚志(新大)・本間航介(新大)
P043		都市近郊のアオサギ繁殖地における他のサギ類の加入・定着とその要因:複数地点の比較から	白井剛(都留文科大／和光大)
P044	*	飼育下モズにおける単独育雛とグループ育雛の成長過程に伴う行動変化の比較	○渡邊竣介(生息域外保)
P045	*	ウミネコの繁殖期と非繁殖期における採餌行動の変化	○山本弥景・但野一成・小澤光莉・仁部駿介・伊藤元裕(東洋大)
P046		伊豆諸島祇苗島におけるオーストンウミツバメの人工巣利用	○山本裕(日本野鳥の会)・寺嶋太輝(東京農工大院・獣医)・手嶋洋子・田尻浩伸(日本野鳥の会)
P047	*	カンムリウミスズメの生態的重要海域の特定	○廣木美帆(帝科大院)・森貴久(帝科大)・田尻浩伸(野鳥の会)・手嶋洋子(野鳥の会)・山本誉士(麻布大)
P048	*	オンラインフォームを用いたイソヒヨドリの分布調査―神奈川県相模原市の事例	○増田侑太郎(都立大)・立木佑弥(都立大)
P049		クロサギの越冬期における羽色と採餌行動及び利用環境の比較	植村慎吾(バードリサーチ)
P050		長野県北部におけるチョウゲンボウの営巣場所周辺における越冬	○本村健(中野市教育委員会)・中山茉奈美(十三崖チョウゲンボウ応援団)・久野真純(広島大・先進理工)
P051	*	日本のライチョウ雄における秋季の行動圏とねぐら行動:GPS 追跡による知見	○堀田昌伸(長野県長野市)・尾関雅章・黒江美紗子(長野県環境保全研究所)
P052		始原生殖細胞の凍結保存によるニワトリ遺伝資源の保全	○奥寄雄也(名大)・西島謙一(名大)
P053	*	繁殖は寿命を短縮するか―歌鳥飼育個体群を用いた検討	○谷村メイチンフィオナ(北大・生命院)・相馬雅代(北大・院理)
P054	*	ハシブトガラスにおけるミトコンドリア DNA の遺伝的多様性について	上野陽彩・青山真人・福井えみ子(宇都宮大院・地域創生)
P055		鳥類における抗がん剤治療の検討:ウズラでの分子標的薬トセラニブの薬物動態	○石井千尋(農工大)・長嶋優子(農工大)・渡部健太郎(農工大)・Ting-Wei Yu(農工大)・山本晴(農工大)・臼井達哉(農工大)・佐々木一昭(農工大)
P056	*	鹿児島県甑島列島におけるリュウキュウキビタキの繁殖集団の発見	○加藤銀次(長大院・総合生産)、江寄真南(鹿大院・獣医)、山口典之(長大院・総合生産)

番号	※	演題	発表者(所属)
P057	*	大阪府南部に生息するフクロウの繁殖期における鳴声の分類と発声頻度の時間変化	○池上隆之(大阪府大・生命、現所属:北大・院理)・村濱史郎(日本バードレスキュー協会)・梅崎澄人(大阪公大・院農)・平井規央(大阪公大・院農)・上田昇平(大阪公大・院農)
P058		センサーカメラを用いた北海道十勝平野におけるハイトカの繁殖生態	○平井克玄(十勝ハイトカ, 北クマ)・嘉藤慎譲(十勝ハイトカ, 北クマ, ちいかん)・太田こるり(十勝ハイトカ)・道川富美子(十勝ハイトカ, 北クマ)
P059	*	伊豆諸島における渡り性陸鳥の季節的な移動パターンを音響モニタリングで探る	○船橋美月(筑波大)・谷口司(筑波大)・飯島大智(筑波大)・上條隆志(筑波大)
P060	*	神奈川県葉山町のウミウシにおける出塹方向とタイミングの月別の変化	○田中雅宏(日大生物博)・笠谷幹朗(日大院)
P061		ハクセキレイの集団ねぐらにおける就塹個体数の推移と夜間採食の記録	○本多里奈(埼玉県自然博)
P062	*	ハシブトガラスの飼育オス集団における優位個体の除去が社会的交渉に与える影響	○阿部響(慶大・早大)
P063		センサーカメラを用いた宮城県仙台湾(蒲生～岩沼間)におけるミサゴの繁殖生態	○嘉藤慎譲 1・太田吉厚 2・西谷理恵 3・田部田勉 4・齊藤賢治 (1(株)地域環境計画・2 宮城県森林インストラクター・3(株)宮城環境保全研究所・4(株)建設技術研究所)
P064	*	なぜ GPS 装着サシバにメスが多い? 性比偏りに関する仮説立案と検証の試み	○内藤アンネグレート素(京都市動物園, ARRCN)・東淳樹(岩手大)・伊藤圭子(奄美いんまや動物病院)・井上剛彦(ARRCN)・遠藤孝一(オオタカ保護基金)・出島誠一(日本自然保護協会)・鳥飼久裕(奄美野鳥の会)・葉山政治(日本野鳥の会)・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・松永聡美(日本鳥類保護連盟)・山崎敦子(ARRCN)・山崎匠(ARRCN)・和田のどか(ARRCN)・山崎亨(ARRCN)

第3会場 (2号館 2F 21号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P065	*	樹洞や巣箱は冷凍庫・オオコノハズクの貯食行動	外山雅大(根室市資料館)
P066		兵庫県朝来市和田山町における2025年積雪期のコウノトリの採食生態	栗山(武田)広子(コウノトリ市民レンジャー/コウノトリ市民研/兵庫県立大)
P067		札幌市中央区中島公園においてマガモが樹洞に営巣—オシドリのみね?	○新田啓子(日本オシダリの会)中村眞樹子(NPO 法人札幌カラス研究会)

番号	※	演題	発表者(所属)
P068	*	ハシブトガラスによるキンギンボク有毒果実の採食記録	島田将吾(新潟大)・直江将司(森林総研)・柴田嶺(新潟大)
P069		スズメ目鳥類二種の卵殻表面構造	○松井晋(東海大)・佐藤敦(東海大)
P070	*	CJS モデルを用いたアカモズの生存率推定とその決定要因	松崎秀哉(北大)・市川伸(日本渡り鳥保全・研究グループ)・古巻翔平(厚岸水鳥観察館)・熊谷隼(EnVision)・高木昌興(北大)
P071	*	石狩川河口地域で同所的に繁殖するセンニュウ類 2 種の帰還状況の解明	○岩崎美穂、白岩颯、安田直矢、高木昌興(北大)
P072		小笠原諸島沖の海鳥相-バードウォッチャーによる 5 年間の記録 -	○田野井博之(Seabirding Japan)・田野井翔子(Seabirding Japan)
P073	*	北海道トド島におけるウトウの餌種および採餌域選択と雛の成長	○小島達樹(東洋大)・大門純平(名古屋大)・風間健太郎(早稲田大)・綿貫豊(北大)・仁部駿介・伊藤元裕(東洋大)
P074	*	非繁殖期のクロアシアホウドリの利用海域の多様性と忠実性	○林はるか・西沢文吾(水研機構・水産資源研)・富田直樹(山階鳥研)・塩出大輔(東京海洋大)・越智大介(水研機構・水産資源研)
P075		北海道および東北地方におけるチゴハヤブサの営巣環境	○立石淑恵(オホーツクミュージアムえさし)・高橋雅雄(岩手県博)・東信行(弘大)
P076	*	渡るアオバズクの一年:長期間移動追跡の事例から分かること	○竹田山原楽 1, 2、田谷昌仁 1, 2、塩見こずえ 1、細谷淳 2 (1 東北大、2 鳥類標識協会)
P077	*	鳥取県大山におけるジョウビタキの繁殖生態 ~分子遺伝学および行動生態学の観点から~	楠ゆずは(広大)
P078		北海道北部におけるサンカノゴイの音声調査:生息実態と繁殖行動の予備的解析	○松林志保(関学大)、浦達也(野鳥の会)、中臺一博(東工大)、長谷部真(サロエコ)、鈴木麗璽(名大)
P079	*	ヒドリガモ・オナガガモの性比とペア形成率の季節変動	○浅井美紅(東邦大)・児島庸介(東邦大)・森本元(山階鳥類研究所・東邦大)
P080	*	都会派スズメの子育て戦略~市街地における気温・緑地が営巣地の選好性に与える影響~	○岡村悠太郎(名城大)・橋本啓史(名城大)
P081		ドバトの空間行動と趾欠損の関係性	○海瀬慧・西田澄子・北村亘(東京都市大)
P082	*	内陸都市部におけるイソヒヨドリの環境適応	○大久保亘・北村亘(東京都市大)
P083	*	都市緑地における鳥類-植物相互作用ネットワークのコア鳥類種の同定	湯天禹(東大)・○平尾聡秀(東大)
P084		コシアカツバメは本当はそれほど繁殖はしていない?	福井 亘(栃木・黒磯高校)

番号	※	演題	発表者(所属)
P085	*	佐賀平野におけるカササギの営巣分布に影響を与える環境要因とカラスとの関係	○土屋佳央(佐大)・永渕拓歩(佐大)・佛坂安恵・池上真木彦(国環研)・徳田誠(佐大・鹿大)
P086	*	営巣場所の密度の違いは樹洞営巣性鳥類の生息や繁殖にどう影響するか？	○深水彩(東大)
P087		熊本県菊池溪谷における森林性鳥類相の変遷	○佐藤重穂(森林総研)
P088	*	インターネット上に発信された目撃情報を活用した日本の野生ウズラの分布調査	○宮地李果(麻布大)・戸張靖子(麻布大)
P089	*	ウミネコ巣立ち雛はどこへ向かうのか？：巣立ちから越冬までの移動と活動量の記録	○杉山響己(名大)・水谷友一(同志社大)・後藤佑介(名大)・依田憲(名大)
P090		オガサワラノスリ ファクトシート	千葉夕佳
P091	*	オガサワラカワラヒワの飼育下での繁殖行動について～初の繁殖成功事例より～	○鈴木創・堀越宙・飴田洋祐・神門英夫(IBO)
P092	*	全ゲノム解析で評価するタンチョウの遺伝的多様性と近親交配	○中村陽月(京大)・佐藤悠(京大)・大沼学(国環研)・村山美穂(京大)
P093		感染初期のマガモにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスの体内動態と宿主免疫応答	○佐久間咲希(農研機構)・西浦颯(農研機構)・峯淳貴(農研機構)・熊谷飛鳥(農研機構)・内田裕子(農研機構)・宮澤光太郎(農研機構)
P094	*	円山公園に生息するオンドリの食性把握に向けた糞中 DNA 解析の試み	○木下佳也(北海学園大)・早矢仕有子(北海学園大)・新沼協(北海学園大)
P095	*	東京湾沿岸部におけるマイクロプラスチックの保有状況の 30 年後の変化	○植田晴貴(日獣大・獣医)・徳長ゆり香(北大・獣医)・清水智帆(日獣大・獣医)・橘敏雄(応用生物)・西川和夫(応用生物)・加藤卓也(日獣大・獣医)・羽山伸一(日獣大・獣医)
P096		国内で商業輸送される廃鶏の環境調査	○諸木裕子(日女)・深町昌司(日女)
P097	*	ニュージーランドのミズナギドリ寄生性ハジラミの記録と iNaturalist の活用	前朝琉
P098	*	鳥類の夜間の渡り行動に及ぼす人工光の影響	○和賀大樹(北大)・長田幸子(いであ)・佐藤友徳(北大)・先崎理之(北大)
P099		クロツラヘラサギの日の出日の入りスイッチについて	○小久保守晃(葛西のクロツラ)・北村亘(葛西のクロツラ、東京都市大)・木村成美(NPO birth)上原文弥(葛西のクロツラ)

番号	※	演題	発表者(所属)
P100	*	夜間人工光による海鳥の行動変化	○永井彩実(北大)・富田直樹(山階鳥研)・西沢文吾(水研機構 水産資源研)・綿貫豊・Thiebot Jean-Baptiste(北大)
P101	*	GPSトラッキングによるタマシギの周年行動と環境利用の季節・昼夜変化	喜多村珠妃(人環大・環境)・根本宗一郎(西三河野鳥の会)・上田(人環大・人環)・岡久(人環大・環境)
P102		北海道オホーツク海沿岸に生息するカワウの GPS ロガーを用いた広域移動調査	○羽根田貴行(WMO)・富田大陸(WMO)・加藤洋(WMO)
P103	*	クロアシアホウドリは船舶の存在に対してどのように反応するのか?	○金潤秀(北大水産)・富田直樹(山階鳥研)・越智大介(水研機構)・Jean-Baptiste Thiebot(北大水産)
P104		デジタルメソッドで描く、北海道のオジロワシをめぐる環境運動の社会関係と争点形成	韓智仁(阪大)
P105	*	国内におけるケリの非繁殖期の GPS 発信機追跡結果	○小丸奏(興栄 C、岐阜大)・藤崎雄大(岐阜大)・田中智・伊藤健吾(岐阜大)
P106		ケリ幼鳥の出生から 1 年間の追跡～GPS および足環装着個体の移動、帰還、越冬、繁殖～	○脇坂啓子(関西ケリ研究会)脇坂英弥(関西ケリ研究会)
P107	*	換羽サイクルに基づく鳥類の年齢記録システムー日本における導入の意義	○細谷淳(鳥類標識協会)
P108		大和川下流部の水鳥の 30 年	和田 岳(大阪市立自然史博物館)
P109	*	市民科学と画像認識 AI をもちいた絶滅危惧種の識別	○福井智樹(東京都市大)・吉田祐一・工藤萌華(生態教育センター、葛西鳥類保全委員会)・菊地伸夫・堀直子・渡辺欣正(東京都公園協会、葛西鳥類保全委員会)・北村亘(東京都市大、葛西鳥類保全委員会)
P110	*	都市公園における鳥類の空間利用:植栽樹木との関係に着目して	○酒井結(農工大院・農)・諸澤崇裕(農工大・野生動物センター)
P111		日の出後の経過時間がスポットセンサスの記録率に与える影響:季節・環境による比較	○久野真純(広島大)・大坂英樹(トリルラボ)・大橋正明(日本野鳥の会)・村上公輝(日本野鳥の会)・本村健(中野市教育委員会)・Xike Xiao(広島大)・出口翔大(福井市自然史博)
P112	*	都市鳥からみたエコロジカル・ネットワーク形成に必要な条件の解明	○西亮憲(名城大院)・橋本啓史(名城大)
P113		環境が異なる FSC 認証林における鳥類の比較と評価	○高木憲太郎(バードリサーチ)・天野陽介(WWF ジャパン)
P114	*	カメラ撮影を活用したカラスのねぐら調査法の試行	○加納彩海(岐阜大院・自然研)・酒井泰和(日本野鳥の会岐阜)・森部絢嗣(岐阜大院・自然研)

番号	※	演題	発表者(所属)
P115	*	日比谷公園における野鳥の鳴き声自動識別と位置検出	○吉田聖弥(東京都市大)・宮崎滉平(ハイラブル)・柳楽浩平(ハイラブル)・水本武志(ハイラブル)・北村亘(東京都市大)
P116		市民参加による渡り鳥の夜間フライトコール(NFC)録音調査の運用と課題	○大坂英樹(トリルラボ)・田米希久代(加賀市鴨池観察館)・櫻井佳明(加賀市鴨池観察館)
P117	*	鳥類相の季節変化からみた人工干潟の再生状況の評価	○東直希(広島工大)・岡浩平(広島工大)
P118		東北地方に生息するコムクドリの気候変動による分布変化の予測	大泉龍太郎(北大・院理)・池田小春(岩大・院)・高木昌興(北大・院理)・山内貴義(岩大・農)
P119	*	水田景観の捕食者サシバの主要生息地における餌生物カエル3種の分布決定機構を探る	○尾上愛実(東大)・藤田剛(東大)・宮下直(東大)

第4会場(2号館2F 22号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P120	*	山中湖のコブハクチョウ個体識別管理の取り組み	○葉山久世(かながわ野生動物 SNW) 加藤ゆき(神奈川県博) 篠田授樹(地域自然財産研究所) 菊池博(横浜市金沢動物園)
P121		モニ1000 陸生鳥類調査(一般サイト)からわかった北海道の鳥類の増減	○奴賀俊光・葉山政治((公財)日本野鳥の会)
P122	*	渡り性水鳥の生息地選好から導く普通種保全の希少種への波及効果	○清水孟彦(北大)・堀隼輔(ドーコン)・末田晃太(日本気象株式会社)・市原農太郎(ウエスコ)・和賀大樹(北大)・広部康太(北大)・先崎理之(北大)
P123	*	北関東の平野部における草原性鳥類の分布特性と農地の利用実態の把握	○並木大斗・上條隆志・飯島大智(筑波大)
P124		西日本におけるツル類の越冬期時について	重永明生・○加藤ゆき(神奈川県博)
P125		オホーツク地方でタンチョウの越冬個体群は成立するか?	○正富欣之(JTRI)
P126		北海道北部日本海側に生息するチュウヒの繁殖経過に伴う営巣位置の変化	○東谷和徳((株)セ・プラン)・土門優介((株)ドーコン)・先崎啓啓・先崎愛子(道央鳥類調査グループ)・森田佑介・森田静
P127	*	絶滅危惧種に対する地域住民の意識調査ーコアジサシの保全に向けてー	○大塚育(千葉科学大)・阿部仁美(千葉科学大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P128		気候変動対策としての秋耕と鳥類の食物量のトレードオフを軽減するには	○田尻浩伸(日本野鳥の会, 片野鴨池自然研)・田米希久代(加賀市鴨池観察館, 片野鴨池自然研)・林 俊夫(太田川土地改良区)・東英治(大聖寺下福田町生産組合内 あぢの郷米部会)・谷 和幸(大聖寺下福田町生産組合)・横山明男
P129	*	捕食者除け構造を有する巣箱での外来種アライグマによるヤマガラ繁殖巣の攪乱	○小川華奈・松井晋(東海大・生物)
P130		新潟県における傷病鳥の収容データから見たネコ被害の実態	○佐藤悠子(愛鳥センター)
P131	*	動力源の異なる自動車騒音が鳥類の捕食者検知感度へおよぼす影響	○坂元利駆(近畿大院・農)・石若直人(近畿大院・農)・早坂大亮(近畿大・農)
P132		高速道路 IC 内で確認されたサギ類の多様な営巣様式	○芳賀大(野鳥の会愛知県支部)・西村祐輝(野鳥の会愛知県支部)・橋本啓史(名城大)・東実優(名城大)
P133	*	西表島および石垣島におけるカムリワシのロードキル発生環境	○森嶋茜(帯広畜産大)・水谷晃(Island Ecosystem Research)・山本誉士(麻布大)・浅利裕伸(帯広畜産大)
P134	*	航空写真×レーザ計測: 洋上の鳥類の三次元モニタリングに向けた試み	○倉部鈴美・板谷浩男・中込大河・工藤嘉晃・藤井直紀・島田泰夫・桃谷辰也(日本気象協会)・若松孝平・玉井翔・高野正範・佐橋優也(中日本航空)
P135		イギリスの自然保護団体による湿地環境創出の事例紹介 国内のチュウヒの保護を目指して	○稲葉一将(日本野鳥の会)・浦達也(日本野鳥の会)・山本裕(日本野鳥の会)・手嶋洋子(日本野鳥の会)・田尻浩伸(日本野鳥の会)
P136		北海道猛禽類研究会の活動紹介 -「北海道の猛禽類 2025 年版」の発行-	藤巻裕蔵(帯畜大名誉教授)・○工藤晃央・山田芳樹・山口珠輝・堀隼輔(ドーコン)・天野拓郎(日本工営)・一北民郎(北電総合設計)・大坪二郎(いであ)・紀國聡(建設技術研究所)・栗原絢子(長大)・小林功(パシフィックコンサルタンツ)・先崎啓究(道央鳥類調査グループ)・瀧本育克・徳永尚起(建設環境研究所)・玉田克己(道総研エネルギー・環境・地質研究所)・玉田祐介(道総研林業試験場)・土屋尚(ユリーカ北海道)・木村智紀(北海道技術コンサルタント)・平井克亥(北海道ラプター)・谷津繁芳(森林環境リアライズ)
P137	*	アーカイブ資料参照の可否による標本データの精度検証の有効性	○染矢楓久(北大・農)・加藤克(北大・農/北セ)
P138		漆芸の鞘塗り技法「鶴足革包研出」についての検討: 「鶴足革」はツルか否か	○久井貴世(北大)・酒田堇

発表プログラム Program

番号	※	演題	発表者(所属)
P139	*	江戸時代の東北地方におけるワシの狩猟 —弘前藩と盛岡藩の記録を中心に—	○池田圭吾(北大文学院)
P140		遺跡出土タカ科の骨形態同定基準の作成:前肢編	○許開軒(北大)

高校生・小中学生ポスター発表プログラム Youth poster presentations

会場: 2号館2F 22号室

Y 奇数番号 コアタイム: 9月13日 16:40~18:40

Y 偶数番号 コアタイム: 9月14日 10:00~12:00

番号	タイトル	発表者(学校名)
Y01	武蔵学園における鳥類の窓ガラスへの衝突死の傾向	浅井周(武蔵高等学校)
Y02	あかぼっぽってどんな子育て? あかぼっぽのコミュニケーションの姿を見た~デコイ作戦と親の呼びかけに走り寄るヒナ~	○佐渡志穂里 幸松浩然 鈴木匠(国分寺高校生物部音声班)
Y03	札幌市円山公園の野鳥と生き物たち	長内智幸(札幌市立北陽小学校)
Y04	近江兄弟社中学校におけるコシアカツバメの生存の知恵と工夫	松本百花(近江兄弟社中学校)
Y05	生成 AI を用いた機械学習によるフクロウの個体識別	櫻井奏子(四日市高校)
Y06	滋賀県草津市岡本町におけるツバメの営巣場所の選好に関する研究	シュルンツェ羽奈(滋賀県立膳所高等学校)
Y07	飛行形態と鉤状突起の長さの関連性 一化石鳥類の飛行推定への応用一	秋澤海良(日本大学藤沢高等学校)
Y08	奈良県生駒市におけるツバメの給餌行動の観察と給餌内容の解析	荻巣樹(奈良女子大学附属中等教育学校)
Y09	人とカラスのあいだに生まれた関係性 ~一時保護したハシボソガラスの 27 日間の行動観察より~	高橋徳至(品川区立小山小学校)
Y10	植物由来の蛍光成分を利用したカラス忌避剤の開発	松倉佳奈(宮城県加美農業高等学校)
Y11	コアジサシの鳴き声とコミュニケーション	小野塚廉人(流通経済大学付属柏中学校)
Y12	所沢駅周辺におけるムクドリの就峙行動および就峙環境について	緒方蒼真(桐朋高校生物部)
Y13	宮島沼のマガンの群れの鳴き声と行動の関係	長田佳子(岩見沢市立北村中学校)
Y14	市街地のツミの繁殖行動 -周辺の種による繁殖への影響-	緒方晴(世田谷区立北沢中学校)
Y15	瀬戸内海にオオハム類は何羽? ~漂着した羽根の収集による個体数推定~	木原涼帆(愛媛県立今治西高等学校)
Y16	井の頭公園に生息するカイツブリの出入りについて~個体識別からわかったこと~	櫻庭蓮之介(むさしの学園小学校)

番号	タイトル	発表者(学校名)
Y17	私たちの総合的探究活動 天然記念物八戸 蕪島ウミネコ繁殖地の観察を通して	○村田晃大・木下恵利・高橋晴夏・保土 澤輝望(八戸工業大学第二高等学校)
Y18	40 年前と比較した北海道ウトナイ湖の繁殖 期における鳥の変化	川崎慎一郎・川崎志帆・川崎眞之・澤目 一輝・澤目光輝・高沢理一・竹田 佳 穂・豊田侑生・原田織寧・原田雛寧・ ホール彪吾・森岡咲瑛((公財)日本野 鳥の会 ウトナイ湖サンクチュアリ・ネイ チャーセンターサポーター)
Y19	見えざる飛翔の軌跡:春夏秋冬朝昼晩、カラ スバトのルーティーンを暴け!	○大津洸太郎・丸山雅人(都立国分寺 高校生物部カラスバト GPS 班)
Y20	ヒヨドリと日没の関係性	沼野遥(早稲田実業学校)
Y21	生物部から考える鳥類研究の可能性—教室 の外にある学びと成長	○小西行亮・石川慧文・飯間悠貴・井上 智紗子・四軒家瑠哉・室田章良・末吉侑 (大手前高松中学・高等学校)

自由集会プログラム Workshops

会場: 7 号館

9月12日(金) 15:30~17:30

番号	部屋	タイトル	主催者
W01	D20	洋上風力発電の環境影響評価における鳥類調査の手法に関する意見交流会	日本気象協会、環境省、いであ、水産研、早大
W02	D30	モニタリングサイト 1000 の 20 年の調査結果から見えてきた日本の鳥の変化	植村慎吾(バードリサーチ)
W03	D40	鳥類学若手の会 Presents「遺伝学・ゲノム科学で拓く鳥類学のフロンティア」	田谷昌仁(東北大)、飯島大智(筑波大)、犬丸瑞枝(JIHS)、江指万里(北大)、小島達樹(東洋大)、清水孟彦(北大)ほか
W04	D41	カワウと人との共存を考える(その 26) カワウ管理、やってみたら意外と〇〇だった件。	高木憲太郎(バードリサーチ)
W05	D42	第7回標本集会「博物館施設の生き残り戦略ーひいては標本を後世に残すために」	岩見恭子・小林さやか(山階鳥研)・加藤ゆき(神奈川県博)

9月13日(土) 18:40~20:40

番号	部屋	タイトル	主催者
W06	D20	新たな局面を迎えた野生鳥類の高病原性鳥インフルエンザとその対策に向けて	森口紗千子(鳥取大・グローバルヘルス／日獣大・獣医)、外山雅大(根室市歴史と自然の資料館)
W07	D30	バードウォッチングにおける「利用と保全」の循環	菊地直樹(金大)
W08	D40	石狩におけるアカモズの研究と保全活動	熊谷隼・長谷川理(EnVision 環境保全事務所)
W09	D41	オガサワラカワラヒワ絶滅阻止限界点への挑戦	川口大朗(Islands care)、南波興之(日林協)、鈴木創(I-BO)、川上和人(森林総研)
W10	D42	危機対応自由集会(対動物編)	バードリサーチ